

	委員からの意見・提言	事務局説明	その後の対応
1	基本目標の第1節「おせっかいでつながる心豊かなまち」の“おせっかい”の表記について、他の表記に変えたほうがよい。また、意味するところの説明を加えるとか・・・	住民委員会で話し合われた「住民参画・協働」を象徴する言葉として“一歩前へ”という思いで、表記している。 ⇒ 委員長及び事務局に一任	(基本目標1) 修正後: 思いやりでつながる心豊かなまち 修正前: おせっかいでつながる心豊かなまち
2	男女共同参画の推進において、有田町男女共同参画推進協議会(ありたんひろば)による活動も続いており、どこかに表記すべきではないか。	文章中での表現か、項目の追加により対応していく。	基本計画P10に追加 第1節の男女共同参画の推進の1(2)男女共同参画社会への意識啓発のうち、「有田町男女共同参画推進協議会(ありたんひろば)などとも連携し・・・」という記述を加えた。
3	生涯学習において、学んだものをアウトプットする場についての表記が抜けていると思うが・・・	「(1)人材登録制度の充実」において、学んだ方々を人材制度という形で次に進めていくという部分で含まれている。	—
4	「住民参画・協働」に大学との連携があるが、教育・生涯学習の分野にも具体的な記述がほしい。	記載するようにする。	(生涯学習) 「3 関係機関・関係施設との連携」の文章中及び、(1)の文章中、大学などの高等教育機関という表現で盛り込んだ。
5	和食、和食器の文化をアピールしていかないといけない。磁器発祥の地有田として、後世に伝えていくというような言葉がほしい。	タウンプロモーションとも合わせて検討したい。	第4節の商工業の振興、(3)産業間連携事業の推進のうち、「①有田焼(器)と料理(食)の連携による産業活性化」、や、観光の振興「3 効果的な情報発信」のうち「(3)観光資源の情報発信」の文中の表現に含む。 また、第1節の1情報提供の充実の(3)の「②タウンプロモーションの推進」に包含する。
6	第1次総合計画の検証資料をもらいたい。	現行の計画に主な成果と目標の指標を設定しており、いま集計している。策定部会で検証したものを、次の審議会で示す。	別紙「資料3」のとおり。
7	カタカナ表記が多い。できれば、わかりやすい言葉での表記を。	総合計画の巻末には用語集としてまとめる。同じページの中で説明したほうがよいものは、そのページ内で説明を加える。	基本構想、基本計画とも全体的に、カッコ書きで和訳を加えたり、ページ中又は巻末での用語集に説明を加え、わかりやすいようにする。